

2022年

新年のご



野木町長 真瀬 宏子

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年をお慶びなく清々しいお気持ちで迎えられたこととお喜び申し上げます。野木町も新しい門出を、さらに新鮮な気持ちで力強く進んでいく所存です。

昨年は新型コロナウイルス感染症対応に明け暮れました。第6波に向けて常に予防の体制は継続しておりますので、皆様には引き続きの感染防止へご協力をお願いする次第です。いま現在、新型コロナに苦しんでおられる方々に、心よりお見舞い申し上げます。また長期間ワクチン接種や医療業務に携わっておられる多くの皆様にも心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、今年こそウィズコロナからアフターコロナへと脱却できればと思います。新しい生活様式が浸透していく事も大切です。オンラインやリモートが常識となり、マスクをつけつつも実際に顔と顔を合わせて会話を交わすと一気に親しみやすくなり、楽しいひと時が共有できるように、新生活様式がより一層浸透する年になるのではないのでしょうか。またそれを期待し、少しでも触れ合える年にしたいと思います。

私たちはコロナを体験したからこそ、何気ない平凡な日常の価値を実感することができました。

健康が何よりも大切なことも身にしみました。そして世界的規模で、人と人が支えあい補い合っこそ、お互いの生活基盤が成り立つことも学びました。持続可能な社会づくりを心がけることが必要であると気づきました。今年はいそれらを実現する歩みの年となりそうです。

諸課題を解決し、明るい未来を創るために、今やれることをしっかりとやり、耐えるところは耐えながらも将来への夢は失わないようにしようと思っています。そのためにも今年も町の3重点施策に力を入れ町民の皆様の幸せな暮らしのために、全力であたってまいります。「明けない夜はない」と言います。きっとコロナからの解放の日が来ることでしょう。大いに期待し、希望をもって進みたいと思います。ピンチをチャンスにかえて寅年の「タイガーパワー」で突破していきたいですね。今年こそ「ひまわりフェスティバル」が盛大に開催できますように！！

結びに、皆様の益々のご多幸とご健勝を心よりお祈りして、年の初めのご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(令和四年)

あいさつ



野木町議会議長 針谷 武夫

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

また、日頃より町政の発展並びに議会運営に対しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

令和3年5月より議長を拝命し、新しい年を迎えるにあたり、その重責を改めて感じるとともに、町政発展のため引き続き議員一同努力してまいりたいと決意を新たにしております。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症はパンデミック（世界的大流行）を起こし、今世紀最悪な人命の危機に陥り、何百万人もの尊い命が奪われました。

また、「新しい生活様式」の推進などにより、町民の意識や価値観も変化を余儀なくされ、子供からお年寄りまで、全ての方々が大変苦勞した一年でした。

更に経済・社会を見ますと、深刻な影響が出ましたこともご承知のとおりで、外出自粛により飲食店や中小企業、事業者にとっては収入が落ち込み、生活や経営維持に大変苦勞されているのではないかと思います。

そのような中、感染拡大防止のため、町も県・国と緊密な連携を図りつつ、町民の皆様のご理解とご協力を頂きながら、対策を講じてまいりました。

野木町議会といたしましては、議会と町民との意見交換の中止や議員自らの政務活動の一部自粛、一般質問での質問時間の短縮、各常任委員会の所管事務調査での先進地視察を取りやめ昨年に引き続き机上での調査研究を行う等、対策をとっているところです。

今年は、新型コロナウイルス感染症の収束を確信し、信頼される議会・開かれた議会の実現に向け、引き続き議会改革に取り組んでまいります。

また、多様化する社会、経済情勢の変化を的確に把握しながら、二元代表制の一翼を担う議事機関として、行政運営の監視とチェック機能を果たしながら、持続可能で魅力ある町であり続けるために、町民と行政の架け橋としての役割と責任を自覚してまいりたいと考えておりますので、今後とも、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとって、明るく笑顔と希望あふれる年となることを願い、益々のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げまして新年のごあいさつとさせていただきます。